

1) 報告事項

(1) 令和4年度事業報告

(1)-1. 令和4年度事業総括

資料-1

項目	事業計画（令和3年度総会）	令和4年度事業の概要と成果	今後の取組み・検討課題
協議会	①総会 ・1回開催	①総会 【概要】 ・1回開催（令和4年6月16日） 【成果】 ・令和3年度の事業報告、令和4年度事業計画等について協議した。	<input type="checkbox"/> 開園後の管理運営の検討 ・指定管理者の管理運営内容 ・植生管理方針 など <input type="checkbox"/> 今後の協議会体制の検討
	②企画運営会議 ・2回開催	②企画運営会議 【概要】 ・2回開催（第1回：令和4年10月31日、第2回：令和5年3月22日） 【成果】 ・各開催日までの活動報告、道路・公園整備状況に関する報告、第1期開園以降の管理運営内容等について協議した。	
環境保全活動	③環境保全活動 【目的】 ・主に多様性の高い二次草原の復元を目指した保全 【内容】 ・年22回を予定（平日活動11回、休日活動11回） ・年間活動計画を基に、適宜、利用調整会議で調整をしながら、将来的な植生の目標像を目指して、草原や園路の草刈、竹林や樹林の間伐、湿地・ツツジの保全作業、園路の階段づくり等を行う。	③環境保全活動 【概要】 ・活動回数21回 ・延参加者数552人 ・活動範囲面積約10,200㎡ 【成果】 ・草刈によってネザサの生育が抑制され、背丈が低い草原が維持されている。 ・クズの枯利材を打った場所のクズが減少している。 ・G湿地のコモウセンゴケの生育範囲の拡大が確認できた。 ・保全活動で発生した間伐材を薪等に活用する実践ができた。	<input type="checkbox"/> これまでの保全活動の継続 <input type="checkbox"/> 保全活動の場所と内容の多様化 <input type="checkbox"/> 道具や資材の補充
利用調整会議	④-1 保全活動ミーティング ・月1回、計11回開催予定 ・「暫定利用の促進」、「園路沿い、草原、広場等の維持管理手法及び保全活動」「仮設ロープ柵の設置や仮設サイン等の検討及び整備」について検討する。	④-1 保全活動ミーティング 【概要】 ・月1回11回実施（環境保全活動を休止した日には実施せず） ・延参加者数151人 【成果】 ・保全活動の内容やスケジュール、今後道づくりを行うルートの検討、場所や道の名称を検討した。	<input type="checkbox"/> 保全活動の内容検討 <input type="checkbox"/> 保全活動に関心を持つ人の増加  <input type="checkbox"/> 開園後の管理運営の検討 ・指定管理者の管理運営内容 ・植生管理方針 など <input type="checkbox"/> 開園後の協議会体制の検討
	④-2 事業計画ミーティング ・必要に応じて適宜開催 ・公園設計事業との連携を図り、施設の仕様について検討する。	④-2 事業計画ミーティング 【概要】 ・3回実施 ・延参加者数38人 【成果】 ・湿地保全や利用プログラムについてなど第1期開園後の管理運営について検討した。	
普及啓発活動	⑤信太山里山講座 【目的】 ・信太山丘陵里山自然公園に対する知識や保全の技術を有する人材の育成 【内容】 ・必修講座3講座、選択講座3講座の年間6講座を開催予定 ・翌年度にまたがった受講を可能とし、全4講座の受講で修了とする。 ・オンライン配信による講座を実施する。 ・新型コロナウイルス感染症予防の対策として事例見学会は中止。	⑤信太山里山講座 【概要】 ・全6講座を実施（必修3講座、選択3講座） ・受講生（申込者）21人、修了生5人、協議会会員登録者数4人 【成果】 ・前年度の2倍近い受講生（申込者）があった。理由として、前年度から年度をまたがったの受講を可能としており、前年度から継続した受講生が増えたことが考えられる。	<input type="checkbox"/> 修了生・協議会会員登録者の増加

項目	事業計画（令和3年度総会）	令和4年度事業の概要と成果	今後の取組み・検討課題
普及啓発活動	<b>⑥自然観察会</b> <b>【目的】</b> ・信太山丘陵里山自然公園の自然環境の固有性、独自性を多くの人に周知 <b>【内容】</b> ・2回実施予定	<b>⑥自然観察会</b> <b>【概要】</b> ・第1回を開催（令和4年9月17日） ・第2回を開催（令和5年2月26日） ・参加者数 第1回22人、第2回21人 <b>【成果】</b> ・西側エリアと惣ヶ池湿地にて自然観察を実施することができた。 ・自然発見カードを使ったガイドや、竹馬体験など、新たな観察・体験プログラムを実施することができた。	<input type="checkbox"/> 参加者数を増やす取組み ・広報の拡大 <input type="checkbox"/> 自然観察会の改善・充実 ・観察会の内容の充実
調査・実験	<b>⑦湿地調査</b> <b>【目的】</b> ・大阪府レッドリスト等に位置づけられている貴重種の保全、モニタリングの継続 <b>【内容】</b> ・対象湿地（10箇所）の植物種の確認調査（年3回実施予定） ・生物構成種の推移や人の利用等による影響などを調査し変化を把握。 ・調査結果に基づく貴重種の生育に関する維持管理手法の検討。	<b>⑦湿地調査</b> <b>【概要】</b> ・湿地10箇所の植物種の確認調査を3回（5月、8月、10月）実施 <b>【成果】</b> ・『大阪府レッドリスト2014』に掲載されている6種の貴重種（絶滅危惧Ⅰ類）について確認することができた。 ・10箇所の湿地について、出現種や株数などのデータを蓄積することができた。	<input type="checkbox"/> 継続的なモニタリングの実施
	<b>⑧草原管理手法の実験</b> ・大阪公立大学によるヤギを用いた除草実験の実施。 ・令和4年4月～令和4年8月の4ヶ月間の実施予定	<b>⑧草原管理手法の実験</b> <b>【概要】</b> ・大阪公立大学によるヤギを用いた除草実験 <b>【成果】</b> ・実験結果から、信太山丘陵里山自然公園の除草にヤギを用いる際に適した放牧時期や、必要な頭数の提案をいただいた。	